

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立今里小	学校	児童数	23
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.18	20.71	34.71	41.12	49.12	9.95	151.41	19.76	51.88
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	17.00	17.17	38.50	37.17	31.83	10.40	141.50	13.83	52.33
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男子は8種目中5種目（「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」）で全国および大阪市平均を上回り、特に「反復横とび」と「20mシャトルラン」で高い成果が見られた。女子は8種目中3種目（「長座体前屈」「反復横とび」「50m走」）が全国・大阪市平均を上回り、柔軟性と俊敏性で良好な結果を示した。体力合計点は男女とも全国平均に近づいており、前年度より改善が見られた。

質問紙調査では、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問には、男子は全国・大阪市平均を上回る回答を示したが、女子は全国・大阪市平均を下回る結果だった。また、「1週間の総運動時間が60分未満」の児童割合は、全国・大阪市平均よりやや高く、課題が浮き彫りとなった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

昨年度に引き続き、体育科での体づくり運動やゲーム的要素を取り入れた授業、「今里ウィンターパーク」などの全校行事により、児童が楽しみながら運動できる環境を提供した結果、体力・運動能力の向上が見られた。男子の持久力や敏捷性、女子の柔軟性での成果が特に顕著である。一方で、依然として筋力向上が課題であり、運動時間確保への工夫も求められる。また、女子の運動意欲や総運動時間の不足は依然として課題が見られ、児童自身が主体的に取り組めるプログラムの充実を図る必要がある。

今後は、児童会が主催する低・中・高別に実施する「わくわくスポーツタイム」など、男女ともに楽しめる運動プログラムの更なる充実や、日常的な運動習慣を定着させるための指導が求められる。また、ICTの活用など新しいアプローチで、児童が自主的に運動に取り組める機会を増やし、さらなる体力向上と健康促進を図っていきたい。